



2018年（平成30年）8月1日発行

特定非営利活動法人
あきたスギッチファンド

TEL 018-839-8941
FAX 018-829-5803
e-mail madoguchi@sugicchi-fund.jp
<http://www2.akita-kenmin.jp/~akita-npo-fund/>

あきたスギッチファンドの活動（4月～8月）

4月10日～5月8日	少子化対策応援ファンド 募集
4月26日	総会 於：パーティーギャラリー・イヤタカ
5月13日～6月13日	第19回本ファンド助成事業 募集
6月8日	第14回チャリティ・ゴルフコンペ in 椿台 於：秋田椿台カントリークラブ
6月6日	少子化対策応援ファンド 審査会 於：遊学舎
7月13日	第19回本ファンド助成事業 審査会 於：遊学舎
8月4日	郷土芸能の伝承 民謡と踊りの祭典 (あきたスギッチファンド応援チャリティコンサート)

今後の予定

10月14日	助成事業報告会
10月	第15回チャリティ・ゴルフコンペ in 椿台 於：秋田椿台カントリークラブ
10月1日～11月1日	第20回本ファンド助成事業 募集
12月1日	第20回本ファンド助成事業 審査会 於：遊学舎



ゴルフコンペ表彰式

あきたスギッチファンド応援チャリティコンサート in遊学舎

郷土芸能の伝承

民謡と踊りの祭典

民謡は「地域の宝」
“民謡と踊り”の魅力を堪能しませんか！

平成30年8月4日(土)

13:00開場 13:30～15:30
会場：遊学舎 会議棟

チケット代：1,000円（前売券）
1,200円（当日券）
中学生以下は無料

※収益金の一部をあきたスギッチファンドに寄付いたします。
★あきたスギッチファンドは地域の課題解決に取り組む市民活動団体を支援するファンドです

「民謡と踊りの祭典」チラシ

平成30年度 少子化対策応援ファンド

少子化対策応援ファンドは、秋田県の最も大きな課題である人口減少対応策として、子どもを産み育てやすい環境づくりや、子育て支援などの事業を対象としている。婚活等のイベントはここでは対象としない。選考委員は下表の方々に就任して頂いた。選考委員長は委員の互選により高橋雄悦氏にお願いした。

氏名	所属
高橋 雄悦	株式会社秋田魁新報社 総務局局長
小林 建一	秋田県立大学非常勤講師、前聖園学園短期大学教授
高島 由美	株式会社プレステージ・インターナショナル BPO統括 秋田BPOキャンパス管理部長
佐々木 美奈子	NPO法人いきいきFネット秋田 理事 秋田県男女共同参画センター 副センター長
藤原 淨	秋田県あきた未来創造部 次世代・女性活躍支援課 調整・結婚・若者支援班 主幹兼班長

4月10日（火）に募集を開始、5月8日（火）の締切までに11件の応募があり、6月6日（水）に公開審査会を行った。応募件数としては30万円コース6件、50万円コース4件で、いずれも大事な事業でぜひ実施して頂きたいという選考委員の総意で、内容を精査し助成額を調整、全事業を採択とした。なお、高島委員は都合により公開審査は欠席となった。

募集、応募、採択状況

助成額	募集件数	応募件数	採択件数
上限20万円助成コース	4	1	1
上限30万円助成コース	6	6	6
上限50万円助成コース	2	4	4



選考委員による審査講評

公開審査会で発表者と選考委員との質疑応答

採択団体

1 4 万円助成

団体名 NPO 法人秋田県北 NPO 支援センター（大館市）
事業名 学校用品リユース事業

子育て世代に重くのしかかっている負担を少しでも軽減し、ゆとりある子育て環境を整える一助として、「学校用品リユース事業」を展開する。対象は大館市内高校及び中学校、対象用品は制服、体操着、部活用具など。いろいろな機会を利用して回収し、希望者に配布する。

この事業を通して、家計負担の軽減に加えて、学校と地域が一体となったリユースの輪を定着させるとともに、子どもたちのものを大切にする心を育みたい。

2 5 万円助成

団体名 子育て応援ぬく森（秋田市）
事業名 世代をつなぐプロジェクト



「ぬく森」は、様々な経験を積んだシニアが子育て世代を応援することを目的とする団体。今回は子育て世代に、家族の暖かさや親世代に伝わる日本古来の営みを伝える事業を行う。親世代と子世代をつなぐ場作りについてのパネルディスカッション、着物の着付けや着物にまつわる様々なエピソードの披露などを行う。このプロジェクトを通して、子育て世代に多世代が応援していることを実感してもらい、秋田で安心して子育てしたいという思いに繋げる。

団体名 サポートグループ COCO すた（秋田市）
事業名 シングルマザーの子育て支援「語り合い、支え合い、つながる場づくり」
ー学び合いと周知を中心にー

シングルマザーが孤立しないでつながること、子育てに自信を持って前に進めることを目指して事業を実施する。今回は、「シングルマザーのおしゃべりカフェ」「自己尊重トレーニング」「アサーティブトレーニング」「COCOスタのセミナー」を開催。今まで以上に学び合うことに焦点をあてる。学び合い、支え合い、成長しあい、不安を軽減して、安心して子育てができるようにする。

団体名 R a k u * i k u（秋田市）
事業名 思春期までに伝えたい！親子で考える「恋愛性教育」

性教育は学校教育の中で実施されているとはいえ、そこでカバーしきれない部分がある。今回は各家庭で行うべき性教育に力を入れる。保護者を対象に、専門の講師を招いて「恋愛性教育講座」を実施する。

各家庭で、親から子へ命の大切さを伝え、次世代を担う子どもたちがいのちの大切さを理解し自信を持って家庭を築くことができ、将来的に子どもを産み育てる幸せのイメージを明確に持てることを目指す。

30万円助成

団体名 NPO法人秋田育さぼドリームエンジェル（秋田市）
事業名 チャイサポ ～地域チャイルドサポート養成講習会～

託児支援は各自治体で行っているが、急な託児支援等には対応が難しいのが現状である。急な事態にすぐ手をさしのべることができるためには、より多くの支援者が必要である。今回ファミリー・サポート事業の講習を実施、24時間の講習カリキュラム受講者に修了証を発行する。

講習を通して、子育て支援団体や個人が増え、「すぐ側にある支援」で安心な子育てができるようにしたい。

団体名 ☆ママとこどもの秘密基地☆実行委員会（横手市）
事業名 ママとこどもの秘密基地

核家族化が進み、一人で子育てを背負うママたちが増えている。ママたちの孤立を解消することを目的に、子育てママ応援イベント「ママとこどもの秘密基地」を開催する。

様々なブースや体験会、おなやみ相談会、歌やダンスのステージなど、このイベントに参加することで、ママ・パパが仲間や応援してくれる人に出会い“孤独感”や“閉塞感”から解放されることが期待される。

地域で子育てを応援する企業の出番も作り、企業が地域活動に関わる機会にしていきたい。

団体名 おおだて子育て・多世代交流実行委員会（大館市）
事業名 子どもも大人も思いっきり遊ぼう！ みんなで一緒に地域の魅力発見！

大館市でまちづくりに取り組む団体に、おおだて de 子育て、大館冒険あそびプレーパーク、あきた森の宅配便が加わって実行委員会を結成。地域全体、多世代交流による子育て環境の構築を目的に、「食」「暮らし」「遊ぶ」をテーマにイベントを開催する。大館市松峰児童館とその周辺を会場に、子育てカフェ、冒険あそびやトレッキング、山菜取りやその料理などを、多世代が参加して実施する。イベントを通して、多世代交流の仕組みや場所づくりに向けた研究、提案を行う。

45万円助成

団体名 ここはぐ（秋田市）
事業名 おかあさんのための学び舎



母親になる誰もが知っておいたほうが良いこと、考えておくべきことなどを学ぶ勉強会【おかあさんのための学び舎】を開催する。女性の身体と心のしくみ、妊娠、出産、産後の女性の身体と心のバランス、子供の発達などについて、7回にわたって学ぶ。妊娠・出産、子育ての不安を和らげ、秋田での子育て支援、母親支援の発展に繋げる。

団体名 能代おやこ劇場 (能代市)
事業名 花咲かせプロジェクト2018 「糸の森の音楽会」×子ども食堂
おいしいごはんと素敵な音楽でおなかも心もいっぱい!

能代おやこ劇場は、子どもが身近なところで生の文化に触れられる環境づくりを目指して、日ごろから子どもと大人がともに楽しめる文化体験を行っている。今回は、舞台鑑賞「糸の森の音楽会」とともに、地域で子どもの居場所を提供している「向能代子ども食堂」と提携して、食事と素敵な音楽を聴いてもらう。地域のすべての子どもが優れた文化に触れあうことから、地域の文化活動の広がりを目指す。



2017年の能代おやこ劇場のポスター



CHERISH キッズフェス2017の様子。今年も来てね!

団体名 秋田子育て支援サポーター団体 CHERISH (秋田市)
事業名 CHERISH キッズフェス2018

CHERISHは、親子教室やイベント開催など、さまざまな活動を通して子育てをする母親たちが楽しく充実した子育てや息抜きできる環境づくりを目指して活動している。

今回は妊婦さんから赤ちゃん、幼児、小学生まで、家族みんなが楽しむことのできる大イベントを10月に開催する。秋田での子育ては楽しい!と思ってもらえるようなイベントにしたい。

団体名 アミューズングサポート『あ☆そ☆ぶ』(大館市)
事業名 おおだて：ハッピー子育てプロジェクト



昨年のおもちゃ広場の様子

子育て中の親子が楽しめる「子育てキラキラフェスタ in おおだて～親子で楽しもう!!あそびのいろいろ～」(仮称)を11月に開催する。おもちゃディレクターによる親子で多様な遊びを楽しむおもちゃ広場や、親子でもの作りなどを体験する体験ブースなどを設ける。

事業を通して、子育て環境整備、子育て支援への理解と充実を、社会全体に広げていく。

第19回本ファンド（2018年度第1回）助成事業決定

今年度の選考委員は昨年度からの継続であるが、秋田県あきた未来創造部地域の元気創造課の小松氏は異動のため退任、代わって同課県民協働推進班班長の鷺谷昇氏が就任され、以下のようになった。

栗谷 侑志	株式会社ワーズ
小室 秀幸	(株)小室経営コンサルタント代表取締役 インキュベーションマネジャー
佐々木 美奈子	NPO法人いきいきFネット秋田 理事 秋田県男女共同参画センター 副センター長
高橋 雄悦	株式会社秋田魁新報社 総務局局長
沼倉 充	NPO法人秋田県南パソコン支援市民ネット 副理事長
村岡 典子	まちなかトープ 代表
鷺谷 昇	秋田県あきた未来創造部 地域の元気創造課 県民協働推進班 班長

第19回あきたスギッチファンド助成事業は、5月13日～6月13日に募集。同時に秋田銀行行員有志からの資金提供により組成した冠ファンド「活力ある高齢社会づくりファンド」「若者の活動を応援するファンド」、秋田魁新報社からの寄付金で組成した冠ファンド「秋田魁新報社 がんと生きるファンド」の募集も行った。

秋田銀行の2つの冠ファンドの審査には秋田銀行地域未来戦略部の田村健氏に加わって頂いた。秋田魁新報社の冠ファンドの審査については高橋委員に兼ねて頂いた。

7月13日（金）遊学舎での公開審査会では、件数が多いので、プレゼンテーションを各団体説明10分、質疑応答5分と短縮して実施した。午前中に冠ファンドのプレゼンテーションを行い、選考委員による協議を経て12時20分頃講評と結果発表を行った。午後1時25分から3時過ぎまで本ファンドのプレゼンテーションを行い、その後選考委員による検討協議に入った。申請額を減額して採択という事業も3件ほどあったが、どうにか4時10分には講評、発表に漕ぎ着けることができた。

なお第19回の審査では、佐々木委員が都合により公開審査を欠席された。また、選考委員が申請団体や申請事業の関係者である事業が今回2件あり、書類審査、公開審査ともに審査には加わらなかった。

募集、応募、採択状況

助成額	募集件数	応募件数	採択件数
上限10万円コース	2	2	2
上限30万円コース	3	3	3
上限50万円コース	2	4	3
冠ファンド			
活力ある高齢社会づくり	2	2	2
若者の活動を支援する	2	1	1
冠ファンド がんと生きる			
上限10万円コース	1	1	1
上限20万円コース	1	1	1

採択団体

本ファンド

10万円助成

団体名 この指と〜まれ（北秋田市）
事業名 防災活動を身体で学ぼう



子ども会の夏祭りに、大人も子どもも一緒に炭、水、食料を使いながら防災食を作って食べるイベント。防災用具や備蓄品を確認し、マッチを使って炭を起し、湧水の在り処を知る、避難場所を把握するなど、楽しみながら防災意識を育てることを目指す。親子でマップを作り、家庭でも防災について話合う、さらには地域、町内会にも取組みが広がっていくことが期待される。

団体名 能代おもしろ映画祭り実行委員会（能代市）
事業名 能代おもしろ映画祭り 優秀映画鑑賞会

優良映画を安価もしくは無料で上映し、映画を通じて市民が交流する場を作る。9月28日（金）に能代市文化会館中ホールで文化庁の優秀映画鑑賞事業による作品を上映する。併せて、能代市立図書館ではバリアフリー映画上映会、洋画の名画上映会も開催する。映画祭りを通して、市民の文化交流、地域の活性化、また多世代が参加するまちづくりにつなげたい。

20万円助成

団体名 非営利団体 カポエイラヘジヨナルジャパン秋田（秋田市）
事業名 カポエイラ体験会&ブラジル・カポエイラフェスティバル



ブラジルの伝統武術カポエイラの講師をブラジルから招聘し、県内の保育園、幼稚園約10か所でカポエイラ体験会を実施する。そして最終日には「カポエイラフェスティバル」と称して、県内外のカポエイラ愛好者に参加を呼びかけて、カポエイラとブラジル文化にふれるイベントを行う。

カポエイラは幼少期の運動神経の発育に素晴らしい効果が認められており、ブラジル人講師による保育園、幼稚園での実践を通して、カポエイラが一層広まることが期待される。またフェスティバルは、カポエイラとともにブラジル文化への理解を進める国際交流イベントにする。

団体名 あしたの一步実行委員会（秋田市）
事業名 ダンスイベント「あしたの一步」

子どもから大人まで幅広い年齢層の県民が、自由にダンスを楽しめるコミュニティの形成を目指して、ダンスイベントを開催する。

国内外で活躍するトップダンサーJUMI LITEさんと秋田県出身のYamatoさんを招いて、10月6～7日の2日間ダンスワークショップとダンス公演を実施する。このイベントを通して、多くの人に世界に通用する実力を体感して頂くとともに、県内の若手ダンサーの技術のレベルアップを図る。

30万円助成

団体名 あきたっ子を健全に育む会（秋田市）
事業名 子どもの権利（人権）の啓発事業

最近子どもたちは、対人関係のトラブルやいじめ、親からの虐待などで悩んでいる。背景には子どもを一人のひととして尊重する、子どもの人権を尊重する習慣が根付いていないという事情があるからであろう。

そこで子ども達と関わりを持つ人たちを対象にセミナーを開催する。またリーフレットを作成し、子どもの権利（人権）の啓発を行うと共に、学習会を実施する。

団体名 NPO法人油谷コレクション（秋田市）
事業名 秋田おもひで散歩



油谷コレクションとは、油谷満夫氏が半世紀の間に収集した膨大な文化的歴史的資料であり、現在旧金足小学校に保管されている。これを有効活用すべく、秋田市中心市街地のいくつかの店舗、事業所にコレクションの中からいくつかを選んで展示、それを見ながら散歩する「秋田おもひで散歩」コースを設定する。展示箇所を増やし、散歩者を増やすよう広報に努める。

この事業によって、古き良き懐かしいレトロな雰囲気の散歩を楽しむ元気な高齢者が増えることや、中心市街地が賑わうことを期待している。

50万円助成



団体名 NPO法人秋田県音楽協会（おんぷの会）（秋田市）
事業名 アマチュア音楽家たちの祭典「チャレンジコンサート」2018

老若男女、ジャンルを問わず、音楽愛好者（アマチュア）が演奏パフォーマンスを行うイベントをアトリオン音楽ホールで実施する。子ども部門20組、おとな部門20組を募集。演奏後会場の聴衆による人気投票を行い、各部門1名を表彰する。日常的に音楽に親しみ、音楽を楽しむ、音楽文化の漂う秋田をめざす。

団体名 NPO法人秋田たすけあいネットあゆむ（秋田市）
事業名 子ども未来サポート

生活困窮者支援を中心に、「食糧支援」、「制服リユース」「無償の学習室・パソコン教室」を実施している。生活困窮者の要望に対応するために、事業を拡大したい。しかし事業が無償なので、いろいろなところから支援していただく必要がある。

事業を通して、子どもたちの意欲も高まり。またボランティア教師やスタッフとのかかわりの中で、豊かな人間関係の形成も期待される。

冠ファンド 秋田銀行行員有志による

「若者の活動を支援するファンド」

10万円助成

団体名 おおだてまちづくりコミュニティ（大館市）
事業名 おおだてまちづくりミーティングプロジェクト

少子高齢化、人口減少が進む大館市で、若者を対象として、地域を考える「おおだてまちづくりミーティング」を開催する。話し合いやフィールドワークを通して、大館を知り、愛し、まちに対しなにか行動する若者のネットワークを構築する。

「活力ある高齢社会づくりファンド」

30万円助成

団体名 “秋田の文化”再発見の会（秋田市）
事業名 “和の文化”再発見プロジェクト



最近日常生活から和の文化が失われてきている。和の文化に親しんだ経験のあるシニア世代が中心となって、和の文化を再発見するイベントを11月に開催する。「和の文化の魅力を知る」講演会と、遊学舎の「昭和館」を「和の空間」にしつらえ、和の文化を体感できる事業の2部構成で実施する。

シニア世代が和の文化の価値を再認識し、継続的に若い世代や外国人に伝える役割を担えるようにする。

団体名 秋田食介護研究会秋田市支部あ・ふ・か（秋田市）
事業名 人生の最後まで美味しく食べることのできる地域社会つく
最後まで口から食べる県、秋田！



あ・ふ・かは、人生の最後まで美味しく食べられる世の中を作りたいという思いで活動している。今回は、義歯など他の疾患により固いものを食べるのができにくい高齢者に、従来の介護職や嚥下食とは違った、見た目も良く味も美味しい介護・嚥下食を作り試食品として味わって頂く試食会と学習会を4回開催する。医療・介護従事者、在宅で介護をしている家族等を対象とし、最後まで口から食べる県、秋田のひろがりを目指す。

「秋田魁新報社 がんと生きるファンド」

10万円助成

団体名 なないろこまち（大仙市）
事業名 乳がん患者さんのための手作り補正パッド講習会

乳がん手術後の患者は、市販の人工乳房や補正パッドを求めることが多いが、高価なものが多く、また自分に合うサイズをみつけることが難しいのが現状である。そこで宮城県のりんりんの会から講師を招き、患者が自分の体にあった補正パッドを製作する講習会を開催する。またさらに講習会の参加者有志が講師となり、県内で補正パッドの講習会を開催し広げていくようにしたい。講習を通して、患者同士の交流が生まれ、新たな活動の輪がひろがることも期待される。

20万円助成

団体名 秋田県がん患者団体連絡協議会きぼうの虹（秋田市）
事業名 広く県民に、がんサロンを紹介する冊子を作りたい



がん患者支援のための“がんサロン”は、現在県内に26カ所あるが、その存在は一般にはあまり知られておらず、参加人数も少ない。今回“がんサロン”を紹介する冊子を作成する。病院のがんサロン、保健所のがんサロン、民間のがんサロンと、様々ながんサロンの情報を網羅したものにする。がん患者とその家族が、この冊子から必要な時に自分に合ったサロンに参加することで、心の支援、生活の支援、療養への支援につなげることができる。

あきたスギッチファンド寄付者一覧（平成30年4月～平成30年7月）

あきたスギッチファンド寄付金受取額 4月～7月

992,704円

※敬称略、順不動、お名前の公開許可を頂いた方のみ掲載します。

団体・企業等	株式会社福岡ドライクリーニング、株式会社あくら、 みちのくコカ・コーラボトリング株式会社、有限会社ワタ商事、株式会社伊藤園秋田支店、 サントリービバレッジサービス(株)秋田支店、ダイドードリンコ株式会社、(株)秋田銀行、 (株)秋田魁新報社、奥羽住宅産業(株)、ヨコウン(株)、スギッチ応援隊、椿台ゴルフクラブ、 ピーチ、高井会計事務所、NPO法人桜風亭
個人	小林祐子、堀井啓一、高橋信子、田畑 薫、菅原拓男、藤原睦子、宮田壽美子、 土井敏秀、田村健